

平成29年度事業計画

磨き 輝き 集うまち 燕

【趣 旨】

市内外はもとより、県外からの誘客力のある「つばめ桜まつり」「酒呑童子行列」の観光イベントの実施と、2019年度に開催決定した、「新潟・庄内デスティネーションキャンペーン（DC）」を契機に、産業観光の受入れ施設の拡充と、国上山の自然や大河津分水や中ノ口川河川公園の活用と「食」を組み合わせた新たな観光資源の掘り起しと、これらを結ぶ周遊観光の構築に取り組んでいきます。

また、受入態勢の拡充を図るため、ボランティアガイド組織への助成や新たな組織の育成支援と産業観光ナビゲーターの積極的な活用や各種体験等を実施して「燕のおもてなし」強化にも取り組んでいきます。更に今年度から運行するJR東日本の豪華列車 TRAIN SUITE 四季島のお客さまのアテンドを実施して、燕の魅力向上を図ります。

情報発信としては、温泉地のある弥彦村と組織連携した「燕・弥彦広域観光連携会議」と密接に関係しながら、主に首都圏を中心とした誘客宣伝を進め知名度向上や来訪者の拡大にも取り組んでいきます。

さらに、近年外国人による視察関係が増えていることから、協会ホームページの多言語化及びパンフレット等の外国語表記の拡充に取り組んでいきます。

1. 観光イベント開催事業

16,735,000円

(1) つばめ桜まつり

(事業費 12,920,000円)

燕市の観光イベント「分水おいらん道中」をメインと位置付けた、「つばめ桜まつり」を吉田地区・燕地区・分水地区でそれぞれ開催して、「春は桜でおもてなし」を合言葉に市民一体感の機運醸成をはかり、市外はもとより県外からの誘客取組を継続していくと共に、次年度に向けた「つばめ桜まつり」の準備を進めていきます。

なお、今年度の「分水おいらん道中」では写真撮影用の染井吉野太夫を廃止し、道中中心の運営の円滑化を図ります。有料観覧客には特典として燕製のスプーンとお菓子をプレゼントし、燕製品などのPRしていきます。

また、運営委員会や市内の高校生ボランティアスタッフ、市内企業・各種団体から協力参画いただき、地域一丸となって盛り上げます。

◎つばめ桜まつり 4月 8日(土)～16日(日)

・夜桜ライトアップ 4月 8日～16日

大河津分水堤防・JR分水駅・文化会館前中ノ口川堤防

※開花状況に応じて23日まで延長

・吉田ふれあい広場 さくらフェス 4月 8日(土)

・燕市交通公園&こどもの森 さくらフェス 4月 9日(日)

・第75回分水おいらん道中 4月16日(日)

(2) 酒呑童子行列 (事業費 3,815,000 円)

燕市で唯一の参加型イベントである「酒呑童子行列」開催に合わせ、様々なワークショップを開催して、酒呑童子伝説を広く周知して、県内からの参加者を多く募り、消費拡大につながる取組を行っていきます。また、昨年同様、運営委員会や市内の高校生に、企画段階から協力参画してもらうことで、地域と連携、密着したイベントにしていきます。

さらに、京都福知山市をはじめ全国の鬼関連自治体とは引き続き交流を行っていきます。

◎第13回酒呑童子行列 9月24日(日)

2. 観光プロモーション事業 1,850,000 円

(1) 観光プロモーション事業 (事業費 : 1,850,000 円)

燕の魅力情報を発信していくためのツールであるパンフレット類の作成や増刷、各種媒体等への広告掲載や、公共施設等への告知展開、各種イベント出展などによるPR活動を図り、燕市の知名度向上と誘客促進を行うとともに関係自治体との連携も図っていきます。

3. 受託事業 11,000,000 円

(1) つばめ「おもてなし力」アップ事業 (事業費 : 7,000,000 円)

燕市の新たな観光資源の発掘と既存の観光資源の磨き上げを進め、食を絡めたルートを構築することで、燕市での食と農と産業の連携による滞在時間の延長を目指します。

また、語学力を備えた「観光ナビゲーター」を活用して、国内や海外からの企業視察や産業観光等でお越しいただく来訪者に魅力を伝えるとともに、満足度向上とリピーター化を目指します。なお、今年度からJR東日本が運行する TRAIN SUITE 四季島のお客さまを新津駅から観光ナビゲーターがアattendすることが決定しており、一層の魅力を伝えていきます。

さらに地域の観光ボランティアガイド団体等への活動支援を強化して、新たなガイド育成や、観光地のホスピタリティの向上を図り、来訪者拡大とリピーター化を目指していきます。

(2) つばめ情報発信戦略事業 (事業費 : 4,000,000 円)

産業観光の要である工場見学の通年化の促進と外国人にも情報が届くよう、協会ホームページをリニューアルし、産業観光メニューの拡充と多言語化による情報発信を行います。また、雑誌やメディア等の媒体を活用した戦略的な情報発信により、国内外の潜在的な観光客を燕市へ呼び込む取組を行います。

4. 観光資源活用事業

675,000円

(1) 産業観光体験開催事業

(事業費：333,000円)

近年、インバウンドによる外国人客の消費動向が、爆買いと言われた商品購入動向の「もの消費」から、より日本らしさや地域ならではの体験・体感を楽しむ「こと消費」に変化しているのに合わせ、産業資源を気軽に体験できる取り組みとして、鋸起銅器・彫金・研磨職人による直接指導で、小皿・アクセサリ・木の葉グッズ等の制作体験を行い「ものづくりのまち」を楽しんでいただく取り組みを実施します。

- ・小皿づくり体験 年間6回開催
- ・アクセサリ制作体験 年間7回開催
- ・「木の葉」づくり彫金体験 年間5回開催

(2) 他団体支援事業

(事業費：195,000円)

木場小路萬燈組と横町萬燈保存会が取り組んでいる、地域の歴史ある伝統行事「萬燈」の広報ポスター制作の支援を行うとともに、行事開催の告知を含む認知度拡大に向けた取り組みの協力をおこない、市外からの誘客を目指していきます。

また、新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の大白藤の保存活動に取り組んでいる、八王寺大白藤保勝会を支援して地域の「宝」を守っていくと同時に、ホームページで開花状況をこまめに更新して誘客にも努めていきます。

分水拓本研究会の指導により、名僧良寛さまの碑を拓本体験することで、良寛さまの魅力を伝えていきます。

- ・協会主催年間3回開催

(3) 国上山山開き事業

(事業費：75,000円)

良寛さまが晩年を過ごした「五合庵」や「乙子神社草庵」、また越後最古の名刹「国上寺」等、数多くの史跡や草花が残る国上山は、近年誰でも気軽に登れることから人気を集めています。この、国上山登山シーズンの幕開けとして、4月29日(土祝)にNSTトレッキング開催に合わせて登山者の無事を願い安全祈願祭を行います。なお、今後の山開きを雪割草等の山野草開花シーズンに合わせた時期への移行の検討を関係者と進めていきます。

(4) まちあるき事業

(事業費：75,000円)

地域の活性化には欠かせない「まちあるき」を、既存のコースの他、新たなコースルート策定を促進して、「まちあるき」に取り組む団体とともに、各地域に残る歴史・文化や職人の技を広くPRするツールとして、現在実施している「燕三条まちあるき」との連携を進める他、今後は燕市独自の「いつでも、気軽に」をコンセプトに「まちあるき」が楽しめるコースの専用パンフレット制作やWebによる告知展開を視野に入れた取り組みを進めていきます。

(1) 運営体制

法人化から3年目になり、燕市から派遣職員3名を受け入れ、総務・厚生係、イベント事業係、産業観光推進係の3つの係体制で、より専門性の高い担当配置を行います。

また、事務機器のレンタル料などの見直しや作業内容の改善等を図り、一層の経費削減に努めていきます。

さらに、デスティネーションキャンペーン開催に向け、新たな観光素材の発掘と多種多様な連携を図るため、実行委員会を立ち上げ、受入企画の構築と交流人口拡大を目指します。

【参考】

協会が連携している団体組織等

1. 燕・弥彦広域観光連携会議（燕市・弥彦村）
2. 大学と地域の協働による観光活性化モデル事業協議会（県振興局・経営大学）
3. 県央地域観光振興会議（県振興局・JR・周辺市町村・経営大学）
4. 燕三条ブランド推進会議（地場産センター他）
5. 新潟県MICE研究協議会（新潟県他）
6. 中越文化・観光産業支援機構（長岡市他）
7. JTB関東交流文化誘致協議会（JTB関東他）
8. 東北観光推進機構（東北6県・JR他）